

科目名	経済の歴史と法則Ⅱ(経済史)		担当者名	担当者未定	
開講年次	1	開講時期	後期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	必修	単位数	2
ナンバリング	C0012	該当DP	DP2,DP3		
授業概要	近代社会すなわち資本主義経済は15世紀以降の「大航海時代」からその歴史が開始される。スペインとポルトガルが世界の覇者となるが、やがて、オランダ、イギリスへと変遷していく。特に、イギリスが産業革命を成功させた後、「世界の工場」となり、産業資本主義の時代を迎える。19世紀に入るとフランスやドイツなど西欧諸国とアメリカが産業革命を進めて、20世紀初頭にはそれら列強諸国が世界を植民地分割する。日本は少し遅れて近代国家を形成し、産業革命を進行させながらその植民地分割に加わる。この時代は帝国主義の時代と呼ばれる。第1次世界大戦、第2次世界大戦へと世界は突き進むが、その二つの大戦の間に1929年世界恐慌が勃発する。第2次世界大戦後、前半は資本主義と社会主義が対立する「冷戦時代」と呼ばれ、後半の「冷戦後の世界」では世界が市場経済で包摂さ、グローバル資本主義の時代と呼ばれている。この授業では、世界資本主義の大きな歴史の流れを説明し、それぞれの時代の政治・経済の特徴や構造を把握するように進めていく。				
到達目標	1. 世界資本主義経済は歴史の流れのなかで発生・発展し、戦争や経済恐慌などさまざまな歴史的事象と関連しながら変遷してきたことを理解し、説明できるようになること。 2. 今日さまざまな経済的事象に対しても、自分から積極的に調べ独自の批判的見地から分析できるようになること。				
授業計画	回	授業内容		授業外学習(内容と時間)	
	1	世界資本主義の全体的時代区分その1(経済史による区分)		授業後の復習(プリント)	20分
	2	世界資本主義の全体的時代区分その2(発展段階による区分)		授業後の復習(プリント)	20分
	3	産業資本主義の時代(産業革命と世界貿易)		授業後の復習(プリント)	20分
	4	経済恐慌・戦争の歴史と経済学		授業後の復習(プリント)	20分
	5	1929年世界恐慌その1(映像資料)		授業後の復習(プリント)	20分
	6	1929年世界恐慌その2(3つの体制選択)		授業後の復習(プリント)	20分
	7	戦後世界経済におけるIMF・GATT体制の成立と意義		授業後の復習(プリント)	20分
	8	2つの石油危機と2つの世界不況(映像資料)		授業後の復習(プリント)	20分
	9	冷戦後のグローバル資本主義の成立(マネーゲームの世界経済)		授業後の復習(プリント)	20分
	10	2008年世界金融危機(映像資料)		授業後の復習(プリント)	20分
	11	世界のエネルギー問題と原子力産業		授業後の復習(プリント)	20分
	12	グローバル資本主義と貧富の格差の拡大(格差社会の形成)		授業後の復習(プリント)	20分
	13	世界の富裕層とタックスヘイブン(映像資料)		授業後の復習(プリント)	20分
	14	戦後日本の経済発展と「失われた20年」		授業後の復習(プリント)	20分
	15	現代社会の課題(SDGsの提起と問題点)		授業後の復習(プリント)	20分
教科書					
参考書					
成績評価	方法	割合	備考		
履修上の注意					
実務経験との関連					
オフィスアワー		メールアドレス			